

2024年8月23日

出場団体各位

公益財団法人日本太鼓財団

第26回日本太鼓ジュニアコンクール演奏の審査講評について

この度は大変長らくお待たせしてしまい申し訳ございません。

第26回日本太鼓ジュニアコンクールの演奏に関する審査講評を下記の通りまとめましたのでお知らせいたします。

今大会は、全国の34支部及び地区コンクール（北海道・東北・九州）並びに、ブラジル・台湾での予選を勝ち抜いた代表46団体に前年度優勝団体が参加し、埼玉県さいたま市・大宮ソニックシティにおいて2,000名を超える観客を前に開催されました。さらに、今年も大会の模様をインターネットによりライブ配信したことにより日本国内のみならず世界各国においても多くの皆様に観て頂くことができました。

この講評内容は、審査委員6名の評価に加え、技術委員6名が演奏技術と課題曲における正確さや表現力、また自由曲における創造性などを、大会後の技術委員会で取りまとめたものです。各団体がこの講評を参考に、今後も益々精進されることを期待しております。

記

1. 総評

- (1) 出場者の一生懸命な演奏は、甲乙つけ難く、大会の成績に関わらず、全国大会に出場したことが優秀な証であり、各団体にとって大きな財産になることを確信しております。今後とも、結果にとらわれず、礼節を重んじ、他団体の模範として活躍されますよう期待いたします。
- (2) 課題曲に関しては、これまでで最も早いテンポということで、皆さん演奏に苦慮されるかと思いましたが、どの団体も楽譜通りにしっかり演奏されていました。

ただ、楽譜を追うことで必死になり、手打ちとなったり、振りにまで気が回っていない団体も見受けられました。しっかり太鼓を打ち込み、音を出すことを意識しましょう。

また、譜面通りの無難な演奏に終始した団体も多かったように思います。振りやアレンジを加えることが他団体との差別化にも繋がりますので、それぞれの団体で工夫されると良いと思います。

自由曲については、全体的にオリジナリティに富んだ曲が多く、日ごろからよく練習されていると感じました。回を重ねるごとに全国的なレベルの底上げがなされていることを改めて実感しました。

前回よりは少なくなりましたが、大きい音・強音に終始している演奏が見受けられました。小さい音・弱音とのバランス、また、表現方法としては難しいですが、中音を使用するなどの工夫も心掛けるとよいでしょう。

2. 審査委員並びに技術委員について（五十音順・敬称略）

(1) 審査委員

審査委員長 古屋 邦夫（財団技術委員会委員長）
 審査委員 浅野昭利（一般財団法人 浅野太鼓文化研究所理事長）
 川村真悟（太鼓芸能集団鼓童プロデューサー）
 喜多郎（音楽家）
 高野右吉（財団副会長）
 山部泰嗣（太鼓奏者）

(2) 技術委員 江口信一郎、川原邦裕、鈴木孝喜、西川恵美子、長谷川準、松枝明美

3. 演奏内容について

参考のため全出場団体の講評をお送りします。別紙の講評コメントを参照してください。

4. 審査結果について

優 勝・内閣総理大臣賞	三代目源流（大分）
準優勝・総務大臣賞	太鼓研修センター「響」（宮崎）
第3位	オザスコ轟太鼓（ブラジル）
文部科学大臣賞	オザスコ轟太鼓（ブラジル）
第4位・埼玉県知事賞	舞鶴一座秋月鼓童（宮崎）
第5位・さいたま市長賞	おおむら太鼓連くじら太鼓（長崎）
特別賞	
埼玉県教育委員会教育長賞	柏齡太鼓團（台湾）
さいたま市教育委員会教育長賞	糸島二丈絆太鼓（福岡）
NHKさいたま放送局賞	権兵衛 Jr. 燎～kagaribi～（福井）
株式会社テレビ埼玉賞	大和太鼓保存会鼓天童子（佐賀）
埼玉新聞社賞	東京都立松が谷高等学校和太鼓部（東京）
浅野太鼓楽器店賞	和太鼓集団響屋ジュニア（香川）
諏訪響太鼓店賞	やまばと太鼓（秋田）
宮本卯之助商店賞	火の神乙女太鼓 爽（鹿児島）
丸五賞	輪島・和太鼓虎之介（石川）
篠笛立平賞	天城連峰太鼓（静岡）
ブラジル太鼓協会賞	糸島二丈絆太鼓（福岡）
台湾太鼓協会賞	越中いさみ太鼓保存会春蘭（富山）
国際友好賞	オザスコ轟太鼓（ブラジル）
国際友好賞	柏齡太鼓團（台湾）

以上